

たてやま さんせい う 立山の酸性雨

酸性雨は平野だけでなく、立山にも降っています。図 1 は室堂平(標高 2450m)での酸性雨観測の様子です。図 2 は室堂平、弥陀ヶ原(標高 1930m)、美女平(標高 970m)、平野部(科学博物館屋上)での pH (酸性度)の推移を月別に示したものです。横軸が西暦、縦軸が雨の pH (酸性度)で、pH5.6 よりも値が小さい場合が酸性雨です。

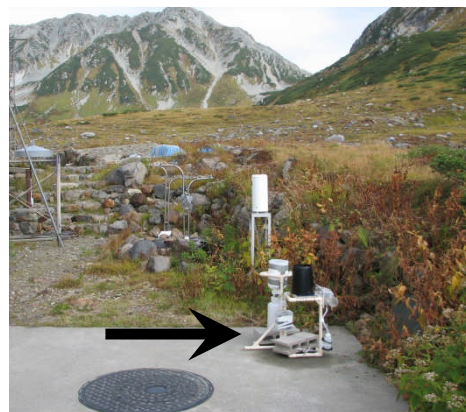


図 1 室堂平の立山センター敷地に設置させてもらった酸性雨観測器

グラフを見ると、ほとんど全てが酸性雨でした。また、標高による pH の違いは少なく、どの地点も似たような変化を示しました。8月と9月の pH の値は 2004 年頃に一時低下したあと、少しずつ高くなり、酸性雨が弱まる傾向が見られました。変わったところでは、7月のグラフの 2011 年と 9月のグラフの 2014 年の部分で、室堂平(◆)と弥陀ヶ原(■)の pH の値が高くなっています(○で囲った部分)。これは室堂平から弥陀ヶ原にかけて黄砂が通過し、黄砂によって酸性雨が弱められたためと考えられます。

(観測は国立公園内で行うため、関係する機関の許可を受けて行っています。)(朴木英治)

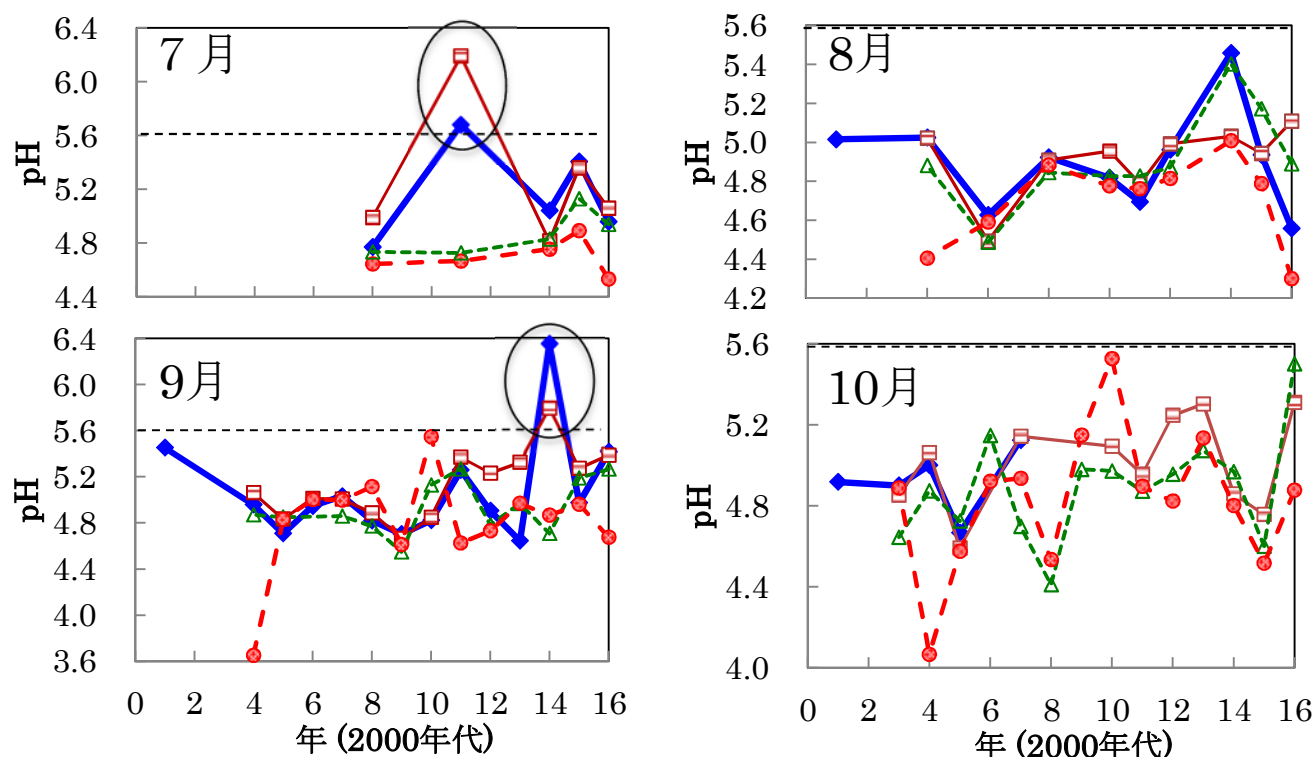


図 2 立山での酸性雨観測結果

室堂平◆— 弥陀ヶ原■— 美女平△--- 平野部●---